

市民活動センターによる 各種支援

市民活動支援コーディネーターの活用

▼情報や場の提供、相談受け付けなど、地協や市民活動団体の活動全般を支援しています。

▼地域で活躍できる人を育成するための各種研修・講座を開催しています。



平成28年度は「地域活力プランナー育成講座」を開講。今年度は「まちづくり実践講座」と題して地域の課題解決などの手法を学んでいます。



その他年間を通じて、地域づくりに興味関心がある人を対象にセミナーや人材育成講座等を予定しています。

ながはま市民活動センターは、地協や市民活動の次の一歩を
応援する場です。

事務局 本庁3階
☎65-6525



財政的な支援

- ・地域づくり交付金制度
活動支援として 35万円+(世帯数×200円)〈年間〉を支給しています。
- ・提案事業交付金制度
事業費の10分の8(審査あり)を支給しています。

人的な支援

▼地域支援職員制度

市職員が事務局や活動をサポートします。

▼地域活力プランナー

地域に根付き、課題解決・地域活性化に取り組むリーダーとして配置しています。

具体的には、地域の現状を把握し、課題点、求められていることを分析したうえで、活動や取り組みを企画し、実践しています。

現在、希望のあった14の地協に配置され、地域の活性化に向けて取り組んでいます。

4ページで紹介した南郷里地協では…

各町の実態や課題を把握しようと、現在地域活力プランナーが地域内21の自治会に出向き、聞き取りをしています。この調査を地協の取り組みに反映させていきます。



南郷里地協による榎木町自治会へのヒアリングの様子

地域づくり協議会を 応援します！

前ページで紹介した二事例はいずれも、地域の課題に対して、地協と市民活動団体が一体となることで、より効果的な取り組みとなっています。市では地協との連携体制や支援制度を設けるとともに地協と市民活動団体をさまざまな形で応援する「ながはま市民活動センター」を設置しています。

育児の孤立と不安を解消 居場所づくりで応援・見守り

こんな取り組みをしています！
南郷里地域づくり協議会

協議会データ

平成19年発足。構成自治会数21 世帯数4152
人口10439 高齢化率23%(平成29年1月現在)
平成27年から南郷里まちづくりセンターを管理・運営



●はぐみんぐ サポートメンバー

30～60代の女性15人がスタッフとしてサポート。元保育士や栄養士などがおり、保護者からの相談にも専門的視点からアドバイス。



代表
井関真弓さん

子どもが大きくなって、はぐみんぐを“卒業”した人が、今度はサポートスタッフに加わってくれるなど、取り組みが少しずつ実を結んでいるようでうれしく思っています。

子育て広場「はぐみんぐ」の開催

就園前(0.1.2歳)の子どもとその保護者を対象にした交流の場。読み聞かせや手遊びなどの定例プログラムに加え、リトミックや七夕まつり、栄養の話など毎回メインとなるテーマを設け、季節感や保護者に役立つ内容を織り込んでいる。毎月第1・3火曜日まちづくりセンターを会場に行い、毎回15組程度が参加している。参加費は1組100円。

課題解決の模索

地域が一体となった子育て支援をめざそうと、南郷里小学校の読み聞かせボランティアメンバーと連携して活動をスタート。サポートスタッフは民生委員児童委員に依頼したほか、地協の広報で公募。

地域の課題

- ・少子高齢化や新旧住民の混在などによる、コミュニケーションの希薄化。
- ・核家族化や子どもを保育園に預けて働く女性の増加で、育児を通じた交流の機会や場の減少。

関わる人たち



参加を続ける うのせ 鵜瀬あゆみさん
今幼稚園の長女はこの春はぐみんぐを“卒業”しました。この場で顔見知りになった人とは幼稚園でも交流が生まれています。同じ地域の親子が集まるといふ親近感がいいですね。



参加を続ける いちい 一居千賀子さん
他の子の成長がわかったり、スタッフさんに温かい言葉をかけていただいたりして、大好きな場。実は私も子ども人見知りですが、そんな人にもぜひおすすめしたいです。



地協会長 いぬま みのる 井沼 稔さん
はぐみんぐでは、子ども同士、親同士、また親とサポートメンバーのつながりが生まれています。今後も地協として「つなぐ場」づくりに励んでいます。